

＜文部科学省国庫補助事業＞
東日本大震災復興支援
～とどけよう スポーツの力を東北へ！～

**第19回日・韓・中ジュニア交流競技会 愛知・名古屋大会
開催要項**

1. 目的
アジア近隣諸国との青少年スポーツ交流を促進し、相互理解を深めるとともに、各国のジュニア層の競技力向上を図るため、韓国、中国の競技者を日本に招聘し競技会を開催する。
2. 開催期日
平成23年8月22日(月)～28日(日) 7日間
3. 開催地
日本 愛知県
4. 主催
公益財団法人 日本体育協会、財団法人 愛知県体育協会、愛知県教育委員会、
名古屋市教育委員会、財団法人 名古屋市教育スポーツ協会
公益財団法人 日本陸上競技連盟、財団法人 日本サッカー協会、財団法人 日本テニス協会
公益財団法人 日本バレーボール協会、財団法人 日本バスケットボール協会
社団法人 日本ウエイトリフティング協会、財団法人 日本ハンドボール協会、
財団法人 日本ソフトテニス連盟、財団法人 日本卓球協会、公益財団法人 日本バドミントン協会
財団法人 日本ラグビーフットボール協会
5. 主管
第19回日・韓・中ジュニア交流競技会 愛知・名古屋大会実行委員会
愛知陸上競技協会、財団法人 愛知県サッカー協会、愛知県テニス協会
愛知県バレーボール協会、愛知バスケットボール協会、
愛知ウエイトリフティング協会、愛知県ハンドボール協会、愛知県ソフトテニス連盟
愛知県卓球協会、愛知県バドミントン協会、愛知県ラグビーフットボール協会
6. 後援
愛知県、名古屋市、一宮市、瀬戸市
財団法人 全国高等学校体育連盟、愛知県公立高等学校長会、愛知県私学協会
愛知県高等学校体育連盟、愛知県高等学校文化連盟
7. 協力
大塚製薬株式会社
8. 参加国・開催地選手団
日本、韓国、中国、愛知県
9. 選手団の編成
日本選手団 244名
韓国選手団 244名
中国選手団 244名
愛知県選手団 244名
合計 976名

10. 実施競技 11競技

陸上競技、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、ウェイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、バドミントン、ラグビーフットボール

11. 日程(予定)

8月22日(月) 韓国・中国選手団来日、日本選手団・愛知県選手団(サッカー・ラグビー)集合
8月23日(火) 日本・愛知県選手団(9競技)集合、競技(2競技)、練習、開会式、監督・審判会議
8月24日(水) 競技・練習
8月25日(木) 競技・練習
8月26日(金) 競技、フレンドシップ交流
8月27日(土) 視察研修(韓国・中国選手団)、3カ国代表者会議
8月28日(日) 韓国・中国選手団離日

12. 宿舎

<名古屋クラウンホテル> 日本・韓国・中国選手団
名古屋市中区栄1丁目8番33号 TEL052-211-6633
<名古屋東急ホテル> 愛知県選手団
名古屋市中区栄4丁目6番8号 TEL052-251-2411

13. 競技会場

No.	実施競技	競技会場
1	陸上競技	瑞穂公園陸上競技場及び瑞穂公園北陸上競技場
2	サッカー	港サッカー場
3	テニス	東山公園テニスセンター
4	バレーボール	稲永スポーツセンター
5	バスケットボール	一宮市総合体育館
6	ウェイトリフティング	瀬戸市体育館
7	ハンドボール	中村スポーツセンター
8	ソフトテニス	一宮テニス場
9	卓球	一宮市総合体育館
10	バドミントン	中スポーツセンター
11	ラグビーフットボール	瑞穂公園ラグビー場

14. 出場者

競技出場者は、18歳以下の高校生とする。

<日本選手団>

日本・中央競技団体が推薦するチーム・個人とする。

<韓国選手団>

韓国・大韓体育会が推薦するチーム・個人とする。

<中国選手団>

中国・中華全国体育総会が推薦するチーム・個人とする。

<愛知県選手団>

愛知県の競技団体が推薦するチーム・個人とする。

15. 競技方法

(1) 競技規則及び審判員

- 最新の国際競技連盟規則による。但し、各国間相互の合意をもって変更することができる。
- 審判員、ジャッジ及び技術役員は全競技日本側で行う。

(2) 各競技の方法・規則

① 陸上競技

実施種目（男子12、女子12）

男子： 100m、200m、400m、1500m、110mハードル、4×100mリレー
走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、やり投
＜ハードルの高さ99.1cm(ジュニアハードル) / 砲丸の重量6kg＞
＜円盤の重量1.75kg / やりの重量800g＞

女子： 100m、200m、400m、800m、1500m、100mハードル
4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、やり投
＜ハードルの高さ84cm / 砲丸の重量4kg＞
＜円盤の重量1kg / やりの重量600g＞

※選手は2種目にエントリーできる。2種目以外にリレーにエントリーできる。

② サッカー

- ・総当たりリーグ戦
- ・前・後半45分 延長戦なし

③ テニス

- ・総当たり戦
- ・男子種目と女子種目のみ
- ・5試合(単―単―複―単―単) 3勝制。1試合3セットマッチ

④ バレーボール

- ・総当たり戦
- ・5セットマッチ(6人制)
- ・ラリーポイント制 得点25点(第5セットについては15点)

⑤ バスケットボール

- ・総当たり戦
- ・10分クォーター制 延長戦なし

⑥ ウェイトリフティング

- ・男子8階級 女子7階級
- ・各国チームは各階級において、最大1名の選手を登録するものとする。
- ・スナッチ、クリーン&ジャークの2種目合計

⑦ ハンドボール

- ・総当たり戦
- ・前・後半30分 延長戦なし

⑧ ソフトテニス

- ・総当たり戦
- ・男子種目 女子種目のみ
- ・5試合(複―単―複―単―複) 3勝制 1試合は単7ゲームマッチ・複9ゲームマッチ

⑨ 卓球

- ・総当たり戦
- ・男子種目 女子種目のみ
- ・5試合(単―単―複―単―単) 1試合は11ポイント 3ゲーム先取

- ⑩ バドミントン
 - ・総当たり戦
 - ・男子種目 女子種目のみ
 - ・5試合(単―複―単―複―単) 1試合は2ゲーム先取
 - ・ラリーポイント制 得点21点
- ⑪ ラグビーフットボール
 - ・総当たり戦
 - ・前・後半30分 延長戦なし

16. その他

- ① 参加者は、国際交流の意義を理解し、開催国の生活文化を理解するとともに、友愛の念を持って他の参加者と積極的に交流することが求められる。
- ② 参加者は、競技会参加に際して国際的なマナーを守り、競技会においては規則を遵守しなければならない。特に、試合中の審判の裁定は絶対のこととし、これを不服として不満の態度を示すこと、抗議をすることがあってはならない。
- ③ 選手は大会期間中、選手団ユニフォームを着用すること。
- ④ バレーボール、ソフトテニスを除く球技は練習球を各国で持参すること。
- ⑤ 各国選手団は、フレンドシップ交流会に向けてプログラムを複数準備すること。
- ⑥ 韓国・中国の選手団はそれぞれ各自で、傷害保険へ加入すること。